

三原市久井歴史民俗資料館 vol.21

# モ〜モ〜通信



モ〜っと明るく！

あんどん

## 行灯いろいろ

### ☆行灯ってなあに



行灯は、和紙を通して光を広げるあかりの道具です。今でも見かけることがありますが、使われるようになったのは室町時代ごろからです。その頃の文献「鎌倉年中行事」(1452~1455)に、屋外の行列に用いられたとあります。もとは「行灯」の字の通り手に持って歩くときに使われ、江戸時代に提灯が普及すると、室内でのすえ置き型が主流になりました。

### 【行灯コレナンダ！？】

行灯にはさまざまな種類があるかモ〜

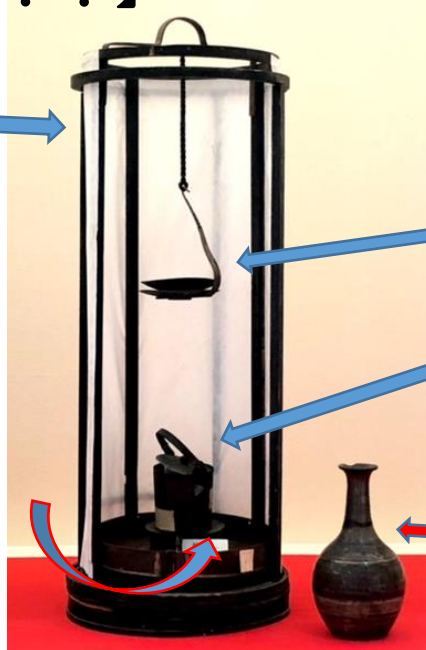


#### ひぶくろ 火袋

火皿をおおう和紙。風よけと、光を弱くする役目がある。

#### かいてん 回転する

開閉式で半円が回転する。手元を明るくする時は、火袋を開ける。



#### ひざら 火皿

油を入れた皿。油にひたした灯芯(イグサ等)に火をつけて使う。

#### 油さし

火皿に油をそそぐための道具。

#### 油とっくり

油を保存する道具。

えんしゅう まる  
遠州行灯(丸行灯)

ありあけ  
【有明行灯】

明け方までともせる行灯です。明け方の月を有明月とよぶことから、この名がつけました。起きている時は箱の上に置き、寝る時は箱にしまい光を弱くしました。



寝る時



☆モーモーポイント☆

こんな感じでのせます。

多機能ですよ。起きている時→



かく  
【角行灯】

江戸時代によく使われた行灯で、独特の風情があります。行灯の光は、今の豆電球ほどの明るさです。

【つり行灯】

天井からつり下げるタイプの行灯です。木枠が多角形で職人の意匠が感じられます。



明治時代になると、石油ランプが広まり行灯はあまり使われなくなりましたよ。

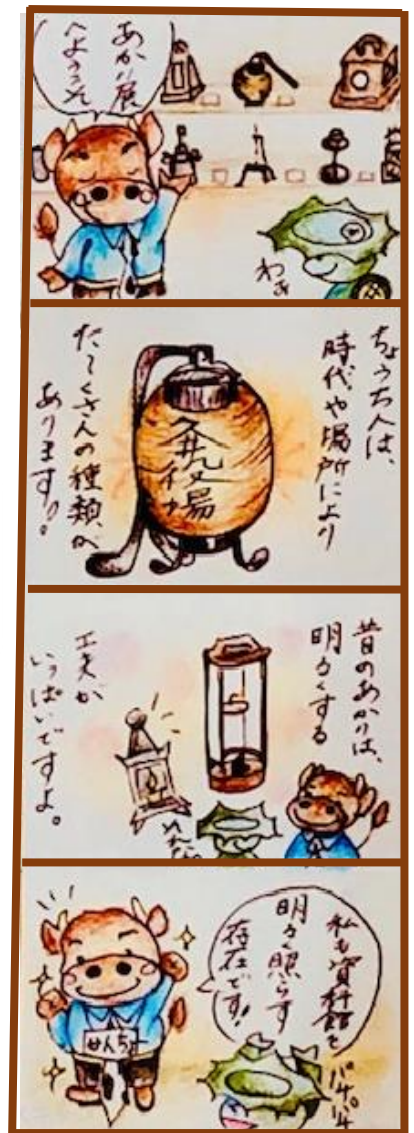
次号は「石油ランプいろいろ」♪

★「モーモー通信」はHPでも★

調べよう！みはらコレナンダ？（子ども向け）



<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/104083.html>



資料館は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1月9日(日)～2月20日(日)まで臨時休館します。\*感染状況により、延期する場合があります。



つづきは資料館で...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いっあんない

